

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 秋桜

作成日: 令和3年12月15日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	現在はコロナ禍の為、文書にてホームからの報告を行う会議となっている。コロナ収束後は、参加委員の増員やテーマを決めた会議の開催等、今後の会議の発展に向けて検討し取り組んでいく。	薬剤師や歯科衛生士、公民館館長、他グループホーム管理者等、参加委員を増員し、薬や口腔ケアについて、ミニ勉強会を行ったり、地域の困り事の解決に向けて話し合う等、ホームと地域、双方の発展に繋がる会議を目指していく。	12ヶ月
2		利用者の確保に向けた取り組み	なかなか満床にならない状況が続いている。運営推進会議を活用したり、地域のネットワーク、病院のソーシャルワーカーとの関係を築く等、人との繋がりを活かしながら利用者の確保に取り組んでいく。	地域の民生委員やケアマネージャーのネットワーク、病院のソーシャルワーカーと密にコミュニケーションを図る中で情報交換し、入居に繋げていく。また、広報活動(ホームページ、広報誌作成等)に取り組み、当ホームの売りを積極的に発信していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。